

## 2019年度 ルールの改正点・修正点について

2019年度のルールブック作成に向け、各種ルールブックの条文の整理および文章表現等を編集会議で検討し、見易く正確で理解し易い表現としたルールブックの作成を行った。4回の編集会議を行い、6回の校正作業を行った。

### 【6人制】

本競技規則は、2017年1月18日にFIVBより「ルールブック2017-2020」として公表されたものをもとに、それをもとに、2019年度版ルールブックの改正点を以下のようにまとめた。

2019年度版ルールブックの最大の特徴は、『2020 東京オリンピック』ムーブメントに向けて『英文併記』としたことである。

なお、2019年度版についても2018年度版同様に「ケースブック」のケース番号に『ビデオ』と記載した項目についてはインターネット上にサイトを作成し、ルールブック巻末にそのサイトのURLとQRコードを掲載しFIVBのCASEBOOKの動画ビデオを見ることができるようにした。

以下が本年度の主な改・修正点である。

#### ●改正点

##### 1. 1.3.4 アタックライン

アタックラインは、それぞれのコートに、そのラインの後端がセンターラインの中心から3mとなるように引かれる。アタックラインによりフロントゾーンが区画される。(規則1.4.1)

FIVB 世界・公式大会では、アタックラインはサイドラインから外側に、長さ15cm、幅5cmの短いラインを20cm間隔で、全長1.75mとなる破線を引き、延長される。

##### 2. 1.5 気温

最低気温は10°C (50°F)を下回ってはならない。

FIVB 世界・公式大会では、最高・最低気温は大会のテクニカルデレゲートによって決定される。

##### 3. 5.2.1 監督は、試合を通して、コートの外からチームのプレーを指揮する。(以下削除)

##### 4. 5.2.3.4 他のチームメンバー同様、コート上の選手に指示を与えてもよい。監督は、試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらでも歩きながらでも指示を出すことができる。もしも、ウォームアップエリアがチームベンチの後方にある場合は、監督は、自チームのコートのアタックラインの延長線からエンドラインまで移動してもよい。

#### ●修正点

1. 規則をより読み易くするため、単語訳や表記を見直し、字句を修正した。

2. ケースブックをより読み易く理解しやすいように表現を一部修正した。

3. \*付則の6 JVA 競技会におけるベンチスタッフは、ジャケットまたは統一された服装でなければならない。ただし、統一されたジャージであっても、スタッフの数名が脱ぐ場合は下に着るポロシャツ等を統一しなければならない。

4. 図・表については規則の本文末にまとめた。

## 【9人制】

本年度は、試合開始前の手続きの部分を明確にするとともに、ラリーの継続を図ることができるよう競技規則の改正を行うこととした。またその他、JVAに寄せられた9人制競技規則に対する意見等も参考に、条文の表現を平易にしてより分かりやすい競技規則になるよう心掛けて編集にあたった。

今年度の9人制競技規則の主な改・修正点は以下のとおりである。

なお、昨年度からの修正・変更・追加した部分は下線で、削除した部分は取り消し線で表記する。

### ●改・修正点

#### 1. 第5条 競技参加者の権利と義務

##### 第3項 キャプテン

2 チームキャプテンは、試合開始前、次のことをする。…

(3) 監督がいないときは、サービスオーダー票にサインして副審または記録員に提出すること。

➡ 新たに追加した。

#### 2. 第6条 試合前の準備

第2項 サービスオーダー票の提出 ➡新たに追加した。

監督またはチームキャプテンは、公式ウォームアップが終了するまでに、副審または記録員に提出する。

➡ 第2項に「サービスオーダー票の提出」を追加したため、第2項と第3項を繰り下げた。

#### 3. 第7条 試合の開始とサービス権の移行

##### 第1項 試合の開始と進行

1 試合は、最初のサーバーのサービスによって開始する。サービス時、両チームの選手は、自コートおよび自チーム側のフリーゾーンに位置していなければならない。サーバーがサービス許可の吹笛後、サービスボールを打った瞬間にインプレーとなる。インプレー中は相手チームのプレーを妨害しないかぎり、相手側のフリーゾーンでプレーすることができる。

➡ サービス時およびインプレー中の選手の位置を明記した。

#### 4. 第8条 得点およびサイドアウト

チームが次に掲げる反則をしたときは、… (略) …

(1) インプレー中のボールを自コート内に落としたとき (ボールイン) ➡ 「自コート」に修正した。

(2)

… (略) …

(10)

(11) サービスの反則 (第23条第3項) ➡ (11)と(12)をまとめて「サービスの反則」とした。

➡ (12)を削除したため(13)と(14)をそれぞれ繰り上げた。

#### 5. 第13条 選手交代

##### 第1項 正規の選手交代

2 選手交代の要求とは、コートに入る準備のできた交代選手が、選手交代ゾーンに入ることをいう。この場合、~~それぞれのセットの試合開始前の選手交代、~~およびコート内の選手の負傷や病気 (以下「負傷等」という。) による選手交代を除いて、監督またはゲームキャプテンはハンドシグナルを示す必要はない。

➡ 各セット開始前（0対0）の選手交代はハンドシグナルを不要とした。

- 4 選手交代は、それぞれのセットの試合開始前においても要求することができる。~~この場合、監督またはゲームキャプテンはハンドシグナルを示して要求しなければならない。またこの交代は、そのセットの正規の選手交代として記録する。~~ ➡ 同上

## 6. 第20条 ネット付近でのプレー

### 第4項 オーバーネット（第3図）

- 1 インプレー中、選手が両アンテナ間のネット上を越えて相手コート内にあるボールに触れたときは、オーバーネットの反則とする。➡オーバーネットは両アンテナ間のプレーとした。

### 第5項 インターフェア

- (2) 相手コート内にあるボールに、ネットの反対側から故意に触れてプレーを妨害したとき。  
➡ 「故意に」を削除した。

- (4) アンテナ外側のネット垂直面を越えて相手空間内にあるボールに触れたとき。 ➡ インターフェアに(4)を新たに追加した。

## 7. 第21条 ボールアウト（第4図-1・第4図-2） ➡ 図の番号を変更および追加した。

- 1 ボールは、両アンテナ間でネット上方の許容空間を通過させ相手コートへ送らなければならない。このボールが次の状態になったときは、ボールアウトとする。（第4図-1）

- (1) アンテナ、アンテナ外側のネット、コート外の床面または物体、プレーしていない選手以外の人に触れたとき。 ➡ 「プレーしていない選手以外の人」を追加した。

- (2) ネットの下方をボールが完全に通過したとき。 ➡ (3)を(2)へ修正した。

- (3) ボールの全体またはその一部でも、許容空間外側のネットの垂直面を完全に通過したとき。  
ただし、次の第21条2に該当する場合は除く。 ➡ 取り戻し関連を追加した。

- 2 ボールの全体または一部が、許容空間外側のネット垂直面を越えて、相手側のフリーゾーンに行った場合は、チームに許された接触回数なかで、以下の条件のもと、ボールを取り戻すことができる。（第4図-2） ➡ 下記条件のもと、ボールを相手フリーゾーンから取り戻すことができることとした。

- (1) ボールの全体または一部は、再びコートの同じ側の許容空間外からネット垂直面を越えて取り戻すこと。 ➡ 取り戻し関連を追加した。

- (2) 選手は相手側のフリーゾーン内でプレーすること。 ➡ 取り戻し関連を追加した。

〈第4図-1 ボールアウト〉 ➡ 図の番号を変更した。

〈第4図-2 ボールを相手フリーゾーンから取り戻す際の判定〉 ➡ 新たに図を追加した。

## 8. 第23条 サービス

- 第4項 セット開始時のサービスチームの誤りと処置 ➡ 項の見出しを修正した。

## 9. 第30条 副審

### 第2項 責務

#### 2 試合中

- (8) 次の反則があったときは、吹笛し、続いて公式ハンドシグナルを…（略）…

- ③ ボールが副審側のアンテナに触れたとき、またはアンテナ外側を通過したとき。ただし、第21条2に該当する場合は除く。 ➡ 取り戻し関連を追加した。

- ⑤ ボールが主審の後方を通過したとき。ただし、第21条2に該当する場合は除く。 ➡ 取り戻し関連を追加した。

## 10. 付録(1) 特別競技規則

### 付則の3 (第5条第5項1関係)

チーム役員の服装は、ジャケットまたは統一された服装でなければならない。ただし、統一された服装の上着をチーム役員の数名が脱ぐ場合は、下に着るポロシャツ等は統一しなければならない。

## 11. 付録(2) 公式記録記入法

2 トス ➡ 「トスの後」を「トス」へ修正した。

トスに先立ち、両チームの監督、チームキャプテンのサインを採録する。 ➡ サインをトスの前とした。

トスの結果および提出されたサービスオーダー票に基づいて、次のことを記入する。

③ ~~両チームのチームキャプテン、監督のサインを採録する。~~ ➡ 削除 (上記関連)

➡ ③削除のため④と⑤を繰り上げ

## 12. 付録(3) プロトコール (試合開始前, セット間および終了後の手順)

〈試合開始前〉

○ 11分前/チーム ➡ サインについて明確にし、この時点でユニフォーム姿になることとした。

○ 11分前/主審・副審 ➡ サインについて明確にした。

○ 9分前 ➡ 公式ウォームアップ開始を10分前から9分前に変更した。

○ 6分前 ➡ 公式ウォームアップの交替を7分前から6分前に変更した。

○ 3分前までに ➡ サービスオーダー票の提出を3分前までとした。

○ 3分前 ➡ 公式ウォームアップ終了を4分前から3分前に変更した。

○ 1分30秒前 ➡ 選手のエンドライン整列を2分前から1分30秒前に変更した。

※その他 ➡ プレーヤー等の字句を修正した。および内容を一部具体的な表現とした。

## 13. ケースブック

○ ルールの内容を変更した。 ➡ 2-6-8

○ ルールの内容を修正した。 ➡ 2-6-10, 3-6-3

○ 字句または文章を修正した。 ➡ 2-6-11, 2-6-12, 3-1-3, 4-4-2, 4-7-2, 4-7-3

○ ケースおよびルールの内容を変更した。 ➡ 3-5-13

## 【ビーチバレーボール】

本競技規則は、2017年1月18日にFIVBより「ルールブック2017-2020」として公表されたものをもとに、2019年度版ルールブックを以下のようにまとめた。

ビーチバレーボールルールブックは6人制ルールブック同様に『2020東京オリンピック』ムーブメントに向けて『英文併記』としたことである。

また、2019年度版はルールの取り扱いについての周知を図るために6人制・9人制ルールブック同様、『ケースブック』を改訂し付録に掲載した。

以下が本年度の主な修正点である。

### ●修正点

1. 規則をより読み易くするため、単語訳や表記を見直し、字句を修正した。
2. ケースブックをより読み易く理解しやすいように表現を一部修正した。
3. 図・表については規則の本文末にまとめた。

## 【ソフトバレーボール】

競技規則制定から32年を迎え、この競技の本質である「いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも」に沿って、ソフトバレーボールが初心者の方でも、競技規則を理解しやすくするため、次のように一部を修正した。

### ●修正点

#### 1. 付則の修正点

以下の項目について、より理解しやすいように表現を一部修正した。

- (1) 第1章審判員とその主な責務 2副審(1)権限4)
- (2) 第1章審判員とその主な責務 2副審(2)責務2)③
- (3) 第1章審判員とその主な責務 3記録員(2)2)

#### 2. ケースブックの修正点

以下の項目について、より読みやすく理解しやすいように表現を一部修正した。

- (1) 第1章施設と用具 1競技場1-3
- (2) 第2章チーム 2-1-1を全文削除
- (3) 第2章チーム 2-1-2、2-2-1、2-3-2、2-4-3
- (4) 第3章試合の準備と進行 3-5-1、3-5-3、3-5-5、3-5-6、3-6
- (5) 第4章得点、セットおよび試合の勝者 4-1、4-3
- (6) 第5章プレー上の動作と反則  
5-1-1、5-1-2、5-1-4、5-1-5、5-2-2、5-2-3、  
5-3-2、5-3-4、5-3-8、5-3-10、5-3-11、5-4-3、  
5-4-4、5-4-5、5-5-3、5-5-5、5-5-7、5-5-8
- (7) 第7章その他 7-3、7-7

#### 3. 付録2プロトコールの修正点

1 1分前の主審・副審の手順を修正した。

#### 4. 公式記録用紙(記入例)の修正点

第3セット最終2行の㉔、㉕チームのサーバーの番号を修正した。